教育広報

かけはし

第74号　平成18年5月30日発行
千代田区教育委員会
http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/

主な記事

★ 平成18年度教育委員会予算
★ 教育委員紹介・教育委員会組織図
★ 運動会日程
★ 千代田区次世代育成手当
★ 子どもの安全安心対策

わくわく・ドキドキ。

今日から1年生　先生やたくさんのお友達と、仲良く楽しく過ごしたいと思います。　（富士見小学校）

古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成18年度 教育予算

総額 30億7537万円

幼児期から中等教育までの教育環境を整備するとともに、豊かな人間性と創造力を備えた人材の育成と、歴史や文化の継承・活用を進めます

1、区立九段中等教育学校が開校します

区立九段中等教育学校の開校【新規】 2億2349万円

平成18年4月に「千代田区立九段中等教育学校」が開校しました。

6年間の中高一貫教育を行う区立唯一の学校です。6年間の一貫教育により、高い志を持ち、将来・進路を自己決定できる人間を育成するため、確かな学力を向上させるとともに豊かな人間性の育成をめざし、区内の豊かな教育資源を活用したキャリア※教育を実施します。

また、英語教育を徹底し、大学進学とその先の進路を見据えた多様な学習方法（九段メソッド）を取り入れ、大胆な教育活動を展開していきます。

2、在来型中学校の特色化に取り組みます

特色ある中学校づくり【拡充】 2555万円

区立中等教育学校の開校とともに、在来校の充実と特色ある魅力的な学校づくりを進めていきます。

麹町中学校は、「進路指導・国際理解教育特別推進校」、神田一橋中学校は、「地域に開かれた教育活動・情報教育特別推進校」として、18年度はさらなる特色化を図り、両校で創意工夫を凝らした教育内容の充実を推進していきます。

外国人講師等【継続】 1473万円

区立幼稚園・小学校・中学校に外国人講師を派遣し、国際性豊かな児童・生徒の育成を図るとともに、将来実際に活用できる英語能力を養うことを目的とします。

※ キャリア教育
望ましい勤労観・職業観を身に付け、自らの意思と責任で進路を選択・決定していくことができる能力や態度を育てる教育です。

3、地域・家庭・学校が連携して、良好な教育環境をつくります

土曜スクール【継続】 1403万円

児童・生徒が週2日の休みを有意義に過ごすことができるようにするために、様々な活動や体験学習の場・機会の整備充実を図るとともに、各学校における土曜日の自主的・主体的な取り組みを支援します。

基礎学力向上プラン【拡充】 2045万円

児童・生徒の基礎的な学力の定着を図るため、少人数指導・※ティームティーチングや小学校における教科担任制を4校から5校の実施に拡充します。

また、全小・中学校において、基礎学力の達成度調査を実施し、その集計・分析を行うとともに学校の主体的な取り組みにより、達成率80％をめざして指導の改善につなげます。

※ ティームティーチング
複数の教員が協力して指導を行うことで、例えば、主に授業を進める先生と児童・生徒に個別に対応する先生が役割分担をして、子どもたちの個別の課題に応じた、きめ細かく行き届いた指導を行うことです。

学校活性化支援事業【継続】 2000万円

自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶなど、生きる力を育む教育活動を実現していくため、地域や幼児・児童・生徒の要望・実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進していきます。

学校（園）長の提案内容を教育委員会事務局が評価し、その結果をもとに決定された事業に対して、予算を重点的に配分していきます。

地域協力型事業【継続】 977万円

21世紀の地域・社会を担う児童・生徒に必要な資質をはぐくむことをねらいとして、各学校が地域や学校の実態に応じて、各教科をはじめ、総合的な学習の時間や課外の体験的な教育活動において、NPO法人や企業、教育機関が集積する千代田区ならではの特色を生かし、地域の人材や専門家等を指導者として迎えたり、NPO法人や企業との連携により実社会と連携した体験的な学習を実施し、学習内容の充実を図ります。

特別支援教育の推進【新規】 413万円

障害をもつ児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応え、障害の状態に応じて十分な教育が受けられるよう、小・中学校における特別支援教育の充実を図ります。

多様化する心身障害教育へ対応するため、校内体制の充実や学級担任の専門性向上に努めていきます。

親子で学ぶ「心の教育」に関する教室【新規】 121万円

インターネットや携帯電話などのITツールが普及し、子どもの生活の中にも深く浸透してきています。こうした中、情報の入手等の有用性をもつ半面、メールのやり取りが原因となった子ども同士の殺傷事件など、ITが有する「光」と「陰」の二面性を子どもに理解させることが求められていますが、保護者も理解が不足していて子どもへの教育ができないケースが数多く見受けられています。

こうした状況に対処するため、区立小・中学校全校で児童・生徒とその保護者全員を対象とした情報モラル教育等を学校公開日等、保護者が学校に集まる機会を活用し、新たに実施します。

ちよだまちかど見守り隊【新規】 868万円

犯罪から子どもを守り、安全で安心な地域社会をめざすために、地域やPTAとの連携のもと、子どもの登下校時を中心とした見守りパトロールを強化します。

（仮称）安全・安心メール【新規】 63万円

「火災情報や避難情報等、災害に関する情報」、「子どもたちの安全・安心に関する情報」を携帯電話のメール機能により、申し込まれた方に情報をメールで配信します。

4、教育環境の整備に取り組みます

（仮称）富士見こども施設整備【継続】 974万円

富士見小学校・幼稚園の改築に際して、地域の人々に開放していくことを前提に、0歳から18歳未満の児童を対象とした『総合こども施設』を※PFI方式により整備します。

整備にあたっては、地域において児童を総合的に育み、のびのびと健やかな子どもの成長を支援するという観点とともに、「地域活性化機能」の視点を踏まえます。また、「小学校」、「こども園」、「児童健全育成機能」を一体的に計画することにより、施設全体で児童の健全育成を図ることができるなど、自治体としては前例のない、新たな形の『総合こども施設』として整備していきます。

※ PFI
「PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

学校施設整備の推進【新規】 2656万円

老朽化した小学校（幼稚園）・中学校の学校施設の改築・改修等整備を、耐震調査を含めた整備検討を行い、子どもたちの教育環境の一層の改善を図ります。

施設改修等（幼稚園・小・中学校・中等教育学校）【継続】 3億9542万円

学校の教育環境整備のため、校庭整備、電気錠設置、厨房改修等の工事を行います。

緊急アスベスト対策【継続】 1億4604万円

児童・生徒の健康を守る観点から、学校施設におけるアスベストの除去等の工事を徹底して行います。

学校備品類等のアスベスト調査・更新【新規】 580万円

児童・生徒の健康を守る観点から、学校施設におけるアスベストを含有する備品等について調査し、表面の傷や剥がれ、破損等により基材部分が露出しているもの

のについて、直ちに更新することで、安全かつ安心な教育環境を実現します。

職員室コンピュータ整備(小・中学校)【継続】　1458万円

教職員の業務用パソコンが1人1台体制に完備されるとともに、職員室、校長室、事務室、保健室をLAN(ネットワーク)で結び、教材づくりや教務等の日常業務の改善を図ります。

5、新図書館の整備と文化遺産の保存・継承・活用を図ります

新図書館整備【新規】　1465万円

文化・情報の拠点施設として、区役所の新庁舎に開館する新千代田図書館の移転整備を進めます。新たなサービス提供として、各種外部情報源の利用を可能にするシステム機能の付加により神保町古書店街その他の地域情報の窓口となる千代田区情報ポータルや電子メールによるレファレンス・サービスなどを構築することによって、利用者のさらなる利便性の向上を図ります。

※　レファレンス・サービス
情報や資料を求めている利用者に対して、図書館員が質問に回答したり、調査用の資料を整えて要求にこたえたりする活動。

新図書館資料収集【継続】　1260万円

新千代田図書館開館時のサービス向上を図るため、蔵書構築の整備を行います。

新図書館ではレファレンスサービスを※重視するため、18年度については、古書、事典類、美術書等を約850冊購入する計画です。

内田文庫・古書店目録の整理とデジタル化【継続】　613万円

現在、千代田図書館で所蔵している外※部からの評価が高い内田文庫と古書店目※録(反町コレクション)の保存環境を整備するとともに、利用促進のための広報を積極的に行うため、資料のデジタル化やデータベース化を行い、ホームページで公開するなど、本来の資料価値を反映した利用の促進を図ることによって、新千代田図書館の特色あるコレクションとしてアピールしていきます。

※　内田文庫
神田駿河台出身の逓信官僚・台湾総督をつとめた故内田嘉吉氏遺族が、昭和11年に千代田図書館の前身である駿河台図書館に寄贈した旧蔵書約17、000点のコレクションです。特に、航海記、旅行記、地誌等17、18世紀を中心とする洋書貴重書500点は世界的レベルのコレクションとされています。また、台湾関係図書についても、国内では他に所蔵しない貴重な資料が多くみられます。

※　古書店目録(反町コレクション)
著名な古書店主である故反町茂雄氏が集めた、全国の古書販売目録約7、000点のコレクションです。神田の古書店組合を通じて、平成8年に千代田図書館に寄贈されました。全国的に例がない、日本近代の出版文化史研究上貴重なコレクションです。

子ども読書活動推進計画策定【新規】　603万円

テレビ、ビデオ、インターネットなどの様々な情報メディアの発達・普及や子どもの生活環境の変化、さらには幼児期からの読書習慣の未形成により、子どもの「読書離れ」が指摘されています。読書は、考える力や豊かな感性、幅広い知識を習得する上で、欠かすことができず、国語力の形成の基盤ともなる重要な手段です。

あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校を通じて多くの区民の方々と連携し、積極的に子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や取り組みを示していきます。

江戸城外堀跡保存管理計画の策定【拡充】　1019万円

文化財の保存と活用を図ることを定めた文化財保護法の規定に基づき、各自治体では、それぞれの置かれた環境にふさわしい形で文化財の保存と活用を図ることが求められています。こうした中、千代田区は旧江戸城外郭内にあり、国特別史跡江戸城跡、国史跡江戸城外堀跡など、近世城郭としては世界最大規模の江戸城にかかわる文化遺産が良好に残されており、この世界的な価値をもつ史跡の保存と整備・活用を図るための計画を平成19年度を目途に策定します。

ちよだ文化遺産プロジェクトの推進【継続】　117万円

区内の文化財・文化遺産・文化資源等の価値を引き出すとともに、保存との共存を図りながら、文化・教育・観光施策と関連させ、積極的な活用を図るための事業を実施します。

学校や公共施設などに、千代田区の文化財の展示スペースを設け、区民の皆さんが千代田の歴史文化に触れる機会を増やしていく「(仮称)まちかど博物館」の推進や、有形・無形の文化財を区の貴重な財産として保存するとともに、公開の機会を創るなど、その活用を図っていく「文化遺産プロジェクト」を推進していきます。

教育委員紹介

3月31日付で教育委員会は左記の構成になりました。千代田区における多くの教育課題に一生懸命取り組んで参ります。

教育委員長
近藤　明義

教育委員長職務代理者
堀口　雅子

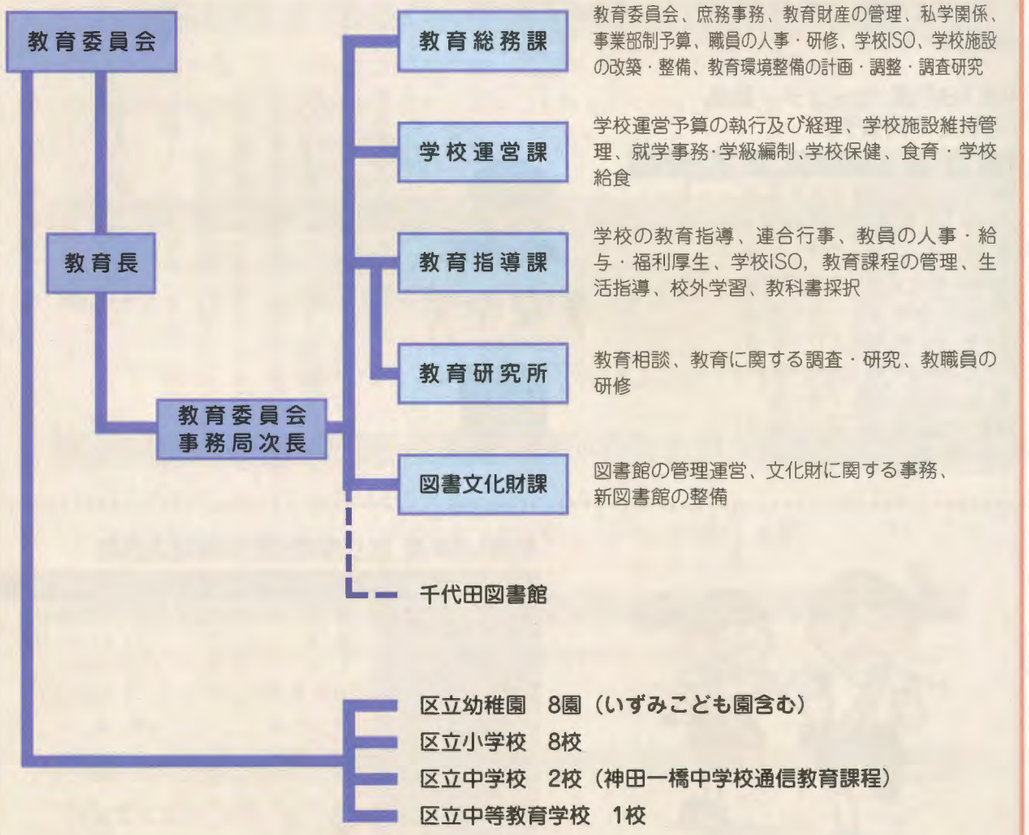
教育委員
福澤　武

教育委員
影山　純子

教育委員(教育長)
若林　尚夫

教育委員会の組織が新しくなりました。

平成18年4月1日現在



教科書展示会を開催

展示期間　6月16日（金）から7月7日（金）まで（6月25日の休館日を除く）

展示時間　午前9時～午後7時
ただし日曜日は午後5時まで

展示する教科書
・小学校用教科書……平成17～20年度使用教科書
・中学校・中等教育学校前期課程用教科書……平成18～21年度使用教科書
・中等教育学校後期課程用教科書の採択用見本

展示会場　千代田図書館2階参考調査室
所在地　九段南1―6―11

お問い合わせ
教育研究所
☎ 3256―8446

区立小・中・中等教育学校「道徳授業地区公開講座」・「セーフティ教室」開催についてのお知らせ

千代田区教育委員会では、東京都教育委員会と共催して、各学校を会場として、今年度も、「道徳授業地区公開講座」「セーフティ教室」を開催します。

いずれも、児童・生徒への指導の実際を公開し、その後、保護者・地域の方々を対象とした講演会や意見交換会を実施するという二部構成になっています。

開催予定は、以下のとおりです。皆様、ぜひご参加ください。

平成18年度 道徳授業地区公開講座開催予定

会場校	開催日時
麹町小学校	平成18年11月11日（土）　午前10時10分から
九段小学校	平成18年10月27日（金）　午後1時45分から
番町小学校	平成18年11月14日（火）　午後1時40分から
富士見小学校	平成18年6月17日（土）　午前10時45分から
お茶の水小学校	平成18年10月30日（月）　午後1時50分から
千代田小学校	平成19年2月18日（日）　午前10時40分から
昌平小学校	平成18年6月24日（土）　午前9時40分から
和泉小学校	平成19年2月17日（土）　午前8時35分から
麹町中学校	平成18年11月8日（水）　午後1時20分から
神田一橋中学校	平成18年9月15日（金）　午前8時40分から
九段中等教育学校	平成18年11月4日（土）　午前11時30分から

「道徳授業地区公開講座」

「道徳授業地区公開講座」は、道徳授業の充実と、学校・家庭・地域社会の連携による道徳教育の推進を図ることをねらいとしています。平成14年度から全小・中学校を会場に、実施してきました。

「セーフティ教室」

「セーフティ教室」とは、各学校において、警視庁職員等の協力により非行・犯罪被害防止の方法やルールを守ることの大切さなどを伝え、学校・家庭・地域社会の連携により「児童・生徒を犯罪から守るとともに非行防止を図る取組」を推進するためのものです。

平成18年度 セーフティ教室 7月までの開催予定

学校名	開催日
麹町小学校	7月3日（月）・4日（火）
九段小学校	6月29日（木）
番町小学校	7月7日（金）
お茶の水小学校	6月17日（土）
千代田小学校	6月17日（土）
昌平小学校	7月11日（火）
和泉小学校	6月15日（木）
麹町中学校	7月上旬
神田一橋中学校	6月30日（金）
九段中等教育学校	6月26日（月）

平成18年度 区立学校（園）の運動会日程

開催日	校名	雨天の場合
9月23日（土）	麹町幼・小	9月24日（日）
	番町幼・小	9月24日（日）
9月24日（日）	九段幼・小	9月30日（土）
	お茶の水幼・小	9月30日（土）
	昌平幼・小	雨天決行
	いずみこども園 和泉小学校	9月30日（土）
	麹町中学校	9月25日（月）
9月30日（土）	富士見幼・小	10月1日（日）
	千代田幼・小	10月1日（日）
	神田一橋中学校	10月1日（日）

千代田区次世代育成手当を創設しました！

全国ではじめて、平成18年4月から、妊娠5ヶ月以上高校3年生までのすべての児童に手当を支給します。

手当支給の目的

次代の社会を担う子どもたちのための子育て支援は、社会全体で支えていくべきものですが、千代田区は区民に最も身近な自治体として、率先して子育て支援に取り組みます。子育てを応援する多様なメニューを用意し、子育てしやすいまちナンバーワンを目指します。

その第一歩として、この次世代育成手当を創設しました。すべての区民の子育てを精一杯応援するため、所得制限も設けておりません。医療費、教育費等お子様のための経費の何にでも充てられる使い勝手のよい手当です。

また、これを機会に企業や事業所にも子育て家庭に対する支援策の実施を呼びかけます。

支給対象者

① 誕生準備手当　　千代田区在住の妊娠5ヶ月（第16週）以上の方（請求は出産後）
② 次世代育成手当　千代田区在住で、高校3学年修了前の児童（18歳に達した最初の3月31日までの間にある者）を養育する生計中心者

手当の金額

① 誕生準備手当　月額5千円　（3万円を限度）
② 次世代育成手当（1）2人目までの児童　一人につき　5千円
（2）3人目からの児童　一人につき　1万円
＊ 小学校1年生入学時から6学年修了前までは、月1千円を加算します。

手当の申請 〈申請をしないと支給されません。〉

＊ 誕生準備手当は、4月1日以降から受付をしております。
＊ 次世代育成手当の申請書は、6月中旬に対象児童のいる方に送付致します。

支給の制限

特別区民税、国民健康保険料、保育園・幼稚園保育料等の未納がある方には、手当が支給されないことがありますので、ご注意ください。

お問い合わせ

子育て推進課　手当・医療係　　電話5211－4230

● 子どもの安全・安心対策 ●

千代田区では子どもの安全対策をまとめ、6月から実施します。これは、区と地域、保護者、学校がいっしょになって、子どもの安全・地域の安全を守っていく取り組みです。具体的には、各小学校ごとに定めた通学区域内の見守りスポットにおいて、下校時に合わせ保護者と地域の方々がいっしょになって、子どもたちの見守り活動（ちよだまちかど見守り隊）を実施します。

この取り組みを息の長いものとして成就するには、地域、保護者の方々のご協力が欠かせません。ご理解とご協力をお願いします。

◇◆◇ 子どもの安全対策 ◇◆◇

【理念】

- ○ 千代田区の伝統として、学校は地域に支えられ、地域が見守っていることで成り立っている。地域が学校をつくってきた。
- ○ 子どもが安全であることは、地域が安全であることである。
- ○ 地域、保護者、学校がいっしょになって取り組み、絆を深めていくことが重要である。

1　小学校における取り組み

(1) 活動主体

① 小学校の安全・安心の取り組み内容は、小学校毎に設置した「学校運営連絡会」等において、見守り体制、通学路の点検、安全マップの作製など、子どもの安全対策について検討し作成する。

② 学校運営連絡会等において作成された具体策は、地域で構成する「ちよだまちかど見守り隊」の活動を中心に進めて行く。

(2) 見守り体制

③ 通学路上については、保護者、町会、民生・児童委員、大学生等が指定された見守りスポットにおいて見守りを行う。

④ 町会、民生・児童委員等（保護者、大学生を除く）の協力者は名簿登録を行い、予め通学路上の見守り場所及び時間を決め、指定された場所において見守りを行ってもらう。これらの取りまとめは、出張所長が行う。

⑤ 大学生のボランティアについては、町会等と同様とするが、登録事務等は政策経営部総務課において行い、その後、出張所長に委ねる。

⑥ 児童は、下校時、通学路上の了解を得られた商店等に声かけを行う。このため、各学校は子ども110番登録者宅や商店等を事前に児童に周知し、下校時に児童から声かけ等を行う。

(3) 支援体制

⑦ シルバー人材センターは、上記の見守り体制を補完する対策として、1校当たり3名程度（1名2時間）とする。

⑧ 緊急時の連絡先は、小学校とする。このため、学校職員は、夜7時まで待機する。

⑨ 生活環境パトロール員は、下校時に合わせ、2名体制で学校周辺を巡回しする。

⑩ 安全・安心パトロール車は、毎日、登下校時、学校周辺を中心に巡回する。

⑪ 区職員及び教職員は、勤務中に公務で外出する際には、「子どもの安全パトロール腕章」を付け、見守り体制を率先する。

⑫ 保護者は、学校に来る際、「子どもの安全パトロール腕章」を付ける。

(4) 啓発活動

⑬ 子ども安全対策を推進するため、年3回程度、「全校一斉の啓発パトロール」を実施する。

⑭ 啓発ポスターについては、公共掲示板、町会掲示板等の他、子ども110番の家登録者、保護者、町会員、民生・児童委員宅等に配布し貼り出してもらう。

⑮ 保護者を中心に自転車かご用「子どもの安全パトロール」啓発グッズを配布する。

(5) 情報連絡通報体制

⑯「子ども安全安心メール」による安全安心に関する情報を携帯のメールによって提供していく。なお、情報提供内容等については子ども110番との連携のもと行っていく。

⑰ 安全安心ネットワーク（新聞専売所、郵便局、牛乳販売店、宅配便等）による通報体制を実施する。このほか、福祉タクシー風ぐるま、ビル管理者、食品衛生・環境衛生等関係団体による通報体制を整備していく。

⑱ ワンワンパトロールとして、犬用ワッペン等を飼い主に配布し、通報体制を整備する。

(6) 学校事業

⑲ 学校においては、セーフティ教室・スクールサポーターなどの事業を随時実施・活用していく。

2　児童館（アフタースクールを含む）

(1) 帰宅方法

① 午後5時以前に帰宅する児童については、グループで帰宅させることとする。

② グループでの帰宅は、予め、児童館等において、各児童の「帰宅経路」及び「グループメンバー」を指定し実施していく。

③ 午後7時まで延長して在館する児童については、児童館保護者会が中心となって、保護者間の協力体制を整備し見守りを行っていく。

(2) 支援体制

④ 保護者や児童館職員による児童の見守り対策など児童館等の安全対策を支援するため、シルバー人材センター協力員を1館1名程度必要に応じて確保していく。

3　実施時期

地域、保護者、学校による児童の見守りは、6月から実施する。
なお、これまで実施してきた取り組みは引き続き推進していく。

お問い合わせ　教育総務課　5211－4352

元気いっぱい 新学期

▲新入園児をお部屋まで連れていってあげます
ー九段幼稚園ー

▲こどもの日の集い　みんなでかしわもちをいただきました。
ー千代田幼稚園ー

▲待ちに待った入園式　楽しい幼稚園のはじまり
4月10日
ー昌平幼稚園ー

▲ユニセフ集会　国連ユニセフ事務局長アン・ベネマン氏来校、世界の子ども達のことについて交流を行いました。
ー麹町小学校ー

▲一年生を迎える会　みんな仲良く　ー富士見小学校ー

▲入学式後　はじめての授業　ー昌平小学校ー

▲地元ー神町会の御神輿を地元の方と一緒に生徒・保護者・教職員でかつぐ　ー神田一橋中学校ー

▲「第一回　入学式・編入学式」誓いの言葉では、新しい学校生活に向けての決意が述べられました。
4月5日
ー九段中等教育学校ー

千代田区の歴史文化に触れてみよう!

麹町出張所展示風景
（麹町2ー8）

四番町歴史民俗資料館では、千代田区で所有するたくさんの文化財に触れていただく機会を増やすために、数年前から千代田小学校と昌平小学校内に展示場所を設けて、資料を公開してきました。

このたび、新たに麹町出張所ロビーに展示コーナーを設置し、また従来展示していた千代田小学校と昌平小学校の資料のリニューアルを行いましたので、合わせてご紹介いたします。

麹町出張所ロビーでは、これまで千代田区教育委員会が主体となって遺跡発掘調査を行ってきた際に、麹町地域の武家屋敷跡から出土した遺物と解説パネルを展示しています。特に、見所は一番町遺跡から出土した弥生土器、また紀尾井町遺跡から出土した縄文時代の石やじりで、区内での出土率は高いものではありません。そのほか、旗本屋敷や大名屋敷から出土した生活用品を展示しています。

千代田小学校展示風景
（神田司町2ー16）

また、千代田小学校内展示コーナー（地下2階・プールロビー）では、岩本町一丁目遺跡から出土した遺物を中心に展示しています。ここの見所は、江戸時代の町屋の生活を窺わせる遺物で、鍛冶炉などを始めとする生産に関わる出土品は区内では珍しいものです。その他、区内の遺跡調査の様子をパネルで紹介しています。千代田小学校の展示は、一般の方はプール一般開放時のみご覧になれます。

昌平小学校（地下1階）では、昭和初期から戦前までの暮らしを再現しています。当時は、まだ電化製品が充分に普及しておらず、火鉢など炭を使用した生活用品が中心でした。ここでは、火熨斗（ひのし）や炭アイロンなどとともに、初期型の電化製品を展示しています。また、当時はちゃぶ台を囲んで食事をするのが一般的でしたが、最近では見られない風景となりました。実際に資料に触れることによって、当時の生活の様子や工夫を理解するきっかけになればと思います。昌平小学校の展示は、原則として小学生のための展示ですが、見学を希望する場合はご相談ください。

また、資料は展示替えをする場合がございますので、ご了承ください。

昌平小学校展示風景
（外神田3ー4ー7）

このように限られたスペースでの資料公開ですが、身近なところで千代田区の文化財に触れる機会を、これからも増やしていくことによって、歴史や文化に対する理解が深まることを願っています。なお四番町歴史民俗資料館でも、常設展示や特別展示を開催していますので、ぜひお立寄りください。

千代田区立四番町歴史民俗資料館
所 在 地：千代田区四番町1番地
電話番号：3238ー1139
HPアドレス：rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp/
開館時間：月～土曜日　午前9時～午後7時
　　日曜、祝日、12月29・30日　午前9時～午後5時（※ ただし、7・8月は、午前9時～午後7時）
休 館 日：毎月第1日曜日、12月31日、1月1～3日、特別整理期間

きょういく随想

「いつか読書する日」という映画を見る機会がありました。主人公は、いつかゆっくり読書できる日を夢に描きながら、読みたい本を買い、多忙な毎日を過ごすという内容の映画でした。

その主人公と同じように、私にも、「定年になったら」と思っている楽しみがいくつかあります。

その一つに、水彩画を楽しむということがありました。新聞を見ていた折、広告欄に「定年後の水彩画教室」という案内が目に留まりました。水彩画教室のガイダンスを二日間で行うという内容です。

「場所が近い」

「料金も安い」

「画材はすべて教室が用意する」

など、受講者にとっては願ってもないような好条件です。さらに決定的な文章がありました。それは、「まったく初めての方でも、一年後には、展覧会に作品が出せるようになる」という殺し文句です。

一も二もなく早速飛びつきました。

二日間の内容は、

○鉛筆の削り方

○画板の角度や絵筆の持ち方

○彩色の技法

などです。

手軽に水彩画を楽しむためには、持ち運びしやすく、軽便である必要があります。そこでまず、鉛筆一本だけを使い、何種類もの太さに描き分ける技法を教わります。講師の先生は、その技法を数回に分けて説明します。説明が終わると実技で示します。見える位置まで足を運ぶように声がかかります。

受講者が実技の最中は、実に細かい観察で見て回ります。また、実際にやって見せます。話で理解し、見て習い、削って覚えます。「もういいのに」と思うようなことでも、「前へ出て見てください」と、必ず声がかかります。このようにして、九割方できているプロのデッサンの、残りの一割ほどをプロ並みに完成するよう導きます。

デッサンの終了です。受講者すべてがプロの描いたデッサンにひけをとらないようないい線が描かれます。

水の使い方の指導もみごとです。旅先で十分な水が得られないときは、一杯の水で描かなければなりません。水を濁りにくくするための基本的な技能を繰り返し教わります。すると、本当に濁りにくくなります。

鉛筆や絵筆の持ち方、彩色の技法など、「なるほど」と、思うことばかりです。時には、「もっと先に進みたい」と、先を急ぐ気持ちになることがあります。そういう気持ちを見越したように、実に丁寧に基礎の基礎を繰り返し説明し、やって見せます。

学ぶうちに、年若い講師の先生が、だんだんステキに見えてきます。不思議なものです。そうしてできた最初の絵は、自宅に飾ってあります。

見るたびに、「なるほど」と思います。

楽しく学んだ六十の手習い

千代田区立教育研究所所長
波岡輝男

きょういく随想

千代田区教育広報誌「かけはし」では、皆様からの声をお待ちしています。ご意見・ご感想・ご要望等をお寄せください。

次号かけはし75号は、7月中旬の発行予定です。

話してみませんか！お子さんの心配ごと

子育ての悩みや不安、不登校、非行などの問題、発育の問題などお子さんのことなら何でも、ご相談ください。

※秘密は厳守いたします。

◎相談申し込み
電話で日時を予約してください。
受付時間　午前十時～午後六時

◎相談日時
毎週　月～金曜日（祝日を除く）
午前十時～午後六時

※相談は無料です。

※心理の相談員が、教育や医療の専門家と協力・連携してあたっています。

お問い合わせ・申し込み
教育研究所教育相談部
☎　3256－8140

教育広報「かけはし」第七十四号
平成十八年五月三十日発行
編集発行／千代田区教育委員会
千代田区九段南一丁目6番11号
☎（ダイヤルイン）03（5211）4352